

北九州市立自転車駐車場(3施設)
(「通常施設管理＋自転車利用促進業務(提案)」型)
指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 平成30年10月25日(木) 15:00～16:00
- 2 場所 北九州市役所(小倉北区内1番1号)12階 121会議室
- 3 出席者(検討会構成員) 南構成員(座長)、寺町構成員、梅田構成員、植田構成員(事務局) 建設局道路部道路維持課長、自転車道担当係長、職員

4 会議内容

- 当日の議事次第等について、事務局より説明。
- 構成員の互選により、座長を選出

- 応募団体(特定非営利活動法人 I-DO)より提案内容に関してヒアリング

(構成員) 指定管理事業に関する収支計画書と提案事業に関する収支計画書があるが、何か違いがあるのか。

(事務局) 基本的には指定管理事業に関する収支計画書で提案をいただいている。提案事業に関する収支計画書は、市の事業として市が採用した場合のものであり、採用の可否は市が検討する。

(構成員) 提案事業の自動ゲート導入事業とは無人化を図るということか。無人化を図るならば、安全面やサービス面で現状を下回ることはないのか。

(応募団体) 利用率の高い西小倉駅前自転車駐車場には自動ゲートがなく、夜間はシャッターが降りてしまう。それにも関わらず利用率が高いということで、自動ゲートを設置して潜在的な需要を広げていきたい。また、小倉駅北口と南口自転車駐車場では自動ゲートを設置しているが機械が古い。これからは、最新の交通系ICカードと連動したサービスも必要不可欠となってくるため、これを機会に提案した。費用については、朝夕は人的サービスの担保が必要だが昼間は人の出入りが少ないため、昼間の人件費を削減して5年分の自動ゲートの購入費用を担うという提案である。快適な最新型の自動ゲートを導入し、モノレール等の交通系ICカードと連携することで自転車駐車場の利用が伸びると見込んでいる。

(構成員) レンタサイクルとシェアサイクルの違いは何か。また、3施設が近隣に位置することによる利用者の利点はあるか。

(応募団体) レンタサイクルは自転車を借りた場所に再び返すものである。シェアサイクルは自転車を借りる場所と返す場所が別で、乗り捨てが可能となるものである。シェアサイクルの拠点が自転車駐車場にないため、これらを併せて展開していくことを提案した。

(構成員) 既存のシティバイクの1箇所となるということか。

- (応募団体) その通りで、場所が1つ増えることとなる。シティバイクはJR駅利用者が多く、自転車駐車場はJR駅近くにあるため、シティバイクの拠点としても活用したい。また、利用者の視点からは、閉ざされた空間には入りにくいいため、見通しの良さを担保できる自動ゲートを導入すれば、自転車駐車場の利用が伸びると見込んでいる。
- (構成員) 3施設の相互利用は考えているか。
- (応募団体) 市との協議が必要となるが、3施設とも利用が100%ではないため、相互利用は可能と考えている。
- (構成員) 自転車駐車場の利用実績を見ると定期券、回数券、普通利用とも減少している中で3%の利用増という高い目標を掲げているが、この実現に向け具体的に何をするのか。
- (応募団体) 西小倉駅前自転車駐車場の潜在需要の呼び起こしである。スライド式のラックを入れるなどしてスペースを活用すれば、今より収容台数増やせると見込んでいる。また、小倉駅北口と南口自転車駐車場は空間的に閉ざされているため、より明るい空間へと改善することと、我々が運営している小倉駅公共連絡通路の自転車駐車場と連携し、同一の運営者となることで料金体系の工夫などにより、市の自転車駐車場の利用を促すといった施策も可能となると考えている。
- (構成員) 西小倉駅前自転車駐車場の夜間帯の利用について、定期券、回数券、普通券の利用内訳等は把握しているか。あるいは、どのような層の利用を想定しているか。
- (応募団体) 西小倉駅前自転車駐車場は日明方面の人たちが利用しやすい。その中にはおそらく夜勤者もあり、小倉駅まで行って自転車駐車場を利用している。こうした人たちが西小倉駅前自転車駐車場を利用できるようになると、全体的な利用の増加につながっていく。
- (構成員) 指定管理料の年間3%削減の根拠をお聞きしたい。
- (応募団体) 現在の支出状況にはほとんど無駄がないように思えるため、さらにそこから我々が頑張って3%削減を提案した次第である。
- (構成員) 貴団体の事業目的や理念には自転車利用促進による中心市街地の活性化等も含まれていると思うが、そうした目的や理念と今回の事業計画をうまくマッチングさせることができれば、さらに良い提案になったのではないか。
- (構成員) 福岡市の天神で自転車駐車場の管理運営をされているが、北九州市の自転車駐車場で生かせることはないか。
- (応募団体) 最近の子育て世代の3人乗り自転車は子どもを乗せるスペースが大きく2段ラックの下に入らないため、天神では2段ラックをすべて撤去した。また、高齢の方は電動アシスト自転車を使うことが多く、オープンスペースのほうが駐輪しやすい。逆にスポーツタイプの自転車利用者は干渉されにくい2段ラックの上段を好む傾向がある。このような特性にあった駐輪場所や駐輪スタイルを利用者に提案していければと考えている。
- (構成員) 西小倉駅前自転車駐車場の自動ゲートシステムは多様な利用者や多様な形式の自転車にも十分対応可能なものであるか。

(応募団体) その通りである。また、今までの機械は通過後に必ず一度閉まることで混雑状況が懸念されていたが、最近人は通っていれば閉じずにオープンになることで渋滞しない性能になっている。

○ 構成員は、提案内容のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入。

○ 応募団体（公益社団法人 北九州市シルバー人材センター）より提案内容に関してヒアリング

(構成員) 平成 26 年度以降、利用が減少傾向だが、その中身は高齢化が進んで利用者が少なくなったとか、そういった部分があるのか。そうした分析を行った上で今回の提案にどうつなげていくのか。具体的にお聞きしたい。

(応募団体) 必ずしも減少傾向ではなく、伸び幅が 4%程度から 2%程度へと若干鈍化している。今回は 2%の伸び幅を維持する提案となっている。

(構成員) 3 施設相互利用を提案しているが、利用が 1 箇所集中して場所が足りなくなる心配はないか。

(応募団体) 現在、小倉駅北口と南口自転車駐車場は同一の放置自転車禁止区域にあるため、既に定期券と回数券の相互利用を問題なく行っている。これに西小倉駅前自転車駐車場と当日券も加え、ショッピングなどの際に小倉都心部を自転車で回遊していただきたい。また、小倉都心部を車で移動している営業職の方に自転車に乗り換えていただき、環境負荷の低減や健康増進を促すなど、市の自転車利用環境計画に沿った提案を行った。

(構成員) 人口減少等もある中で台数を 2%増やしていくとの提案だが、この実現に向けた最も効果的な取り組みをお聞きしたい。

(応募団体) 抜本的な何かというよりも、雨の日にはサドルを拭く、簡単な修理を行う、我々に対応できない場合は修理店に取り次ぐなど、地道な取り組みを積み重ね、PR も行っていきたい。

(構成員) 利用者の満足度における「施設の清潔さ」の目標値で、平成 31 年度だけが 97%で以降は 97.5%となっている。他にも目標値が上昇するものやしないものがあるが、どう解釈したら良いか。

(応募団体) 「施設の清潔さ」については、整った施設があれば、屋根があるだけの施設もある。管理員が清潔を保っていても雨等の状況により利用者の心理に影響を及ぼし、97%台を維持することが難しいことも考えられる。しかし、「管理員の対応」に係る研修には力を入れており、また、「管理員の身だしなみ」も我々の努力で対応できるものであるため、満足度を上げていきたい。話は戻るが、西小倉駅前自転車駐車場は大手町の住宅地や高層マンション街を控えており利用が非常に多い。それに比べ、小倉駅北口と南口自転車駐車場は利用が多いものの西小倉駅前自転車駐車場の水準までには至っていない。こうした 3 施設の状況を踏まえ、西小倉駅前自転車駐車場は少し離れた位置にあるが、3 施設の相互利用が可能となれば利用の増加につながると考え、3 施設共通利用券を提案した。

(構成員) 雨合羽などの実費販売は今回から始めるのか。

- (応募団体) 今までは傘の貸出し等を行っていたが、雨合羽を実費販売した方が利用者にとっても便利が良いのではないかと考え、従来のサービスの延長として提案した。
- (構成員) ニーズはありそうか。
- (応募団体) 福岡市でも好評だと聞いており、傘よりは使いやすいと考えている。
- (構成員) 収入も増えていきそうか。
- (応募団体) あくまで実費販売であり、利用者の満足度向上につなげていきたい。また、ワイヤー錠などは貸出し可能であるため、状況を見ながら新しい試みとして実現したいと考え、「実費販売や貸与」として提案した。
- (構成員) 管理員が傘を貸し出す際に危険なので自転車を押して返るように言っても、少し離れると傘をさしたまま自転車に乗ってしまうことがあるようなので、それなら雨合羽のほうが安全だという発想か。
- (応募団体) その通りである。
- (構成員) 次期に向けて現状の課題等を踏まえ、ここをこう変えたい、ここは変えずに続けたいといった、一番の PR ポイントを端的にお聞きしたい。
- (応募団体) さらに効率的に運営費用を低減してくことである。電力や電話の契約においても競争性を高め、照明の LED 化も行っていきたい。

○ 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入。

○ 構成員は、両団体の提案内容について意見交換。

- (構成員) 各項目ともレベル 1 や 2 はなく、両団体とも適確性等について一定の基準を満たしている。
- (構成員) 特定非営利活動法人 I-DO の提案内容は実現可能性には疑問が残るが、積極的な面を評価したい。また、そもそもの法人目的が自転車の普及や放置自転車の防止であり自転車駐車場の運営と合致しているため、今後の事業展開に期待したい。
- (構成員) 特定非営利活動法人 I-DO の提案内容はシェアサイクル等も含め都心部の自転車駐車場として有効なアプローチができています。ただ、公益社団法人シルバー人材センターの提案内容は 3 施設の連携に向けたものとなっており、この点は特定非営利活動法人 I-DO の提案には見られなかった。
- (構成員) 特定非営利活動法人 I-DO の提案内容では指定管理料を 3%削減するとなっているがその根拠が乏しく、有効性に係る提案内容も具体性が乏しかった。また、シェアサイクル等は自転車駐車場の利用自体が減少する危険性があり、その対応をどうするのかという提案もなかった。
- (構成員) 両団体とも提案内容は物足りない。その中でも特定非営利活動法人 I-DO の提案内容は新たな試みという部分で、小倉都心部の自転車利用の促進や賑わいの促進などを図っており評価できる。

○ 構成員は、特定非営利活動法人 I-DO の各審査項目について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

(全構成員) 検討会の評価レベルは、

- 「指定管理者としての適性」について、「管理運営の理念」が4、「人的・財政基盤」が3、「実績・経験」が4
 - 「有効性」について、「設置目的の達成」が3、「自転車利用促進」が3、「利用者満足向上」が3
 - 「効率性」について、「指定管理料」が4、「収支計画の妥当性及び実現可能性」が3
 - 「適正性」について、「管理運営体制」が3、「平等利用・安全対策・危機管理体制」が3
- が妥当であると考える。

- 構成員は、公益社団法人 北九州市シルバー人材センターの各審査項目について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

(全構成員) 検討会の評価レベルは、

- 「指定管理者としての適性」について、「管理運営の理念」が3、「人的・財政基盤」が4、「実績・経験」が4
 - 「有効性」について、「設置目的の達成」が4、「自転車利用促進」が3、「利用者満足向上」が4
 - 「効率性」について、「指定管理料」が3、「収支計画の妥当性及び実現可能性」が3
 - 「適正性」について、「管理運営体制」が3、「平等利用・安全対策・危機管理体制」が4
- が妥当であると考える。

- 事務局が合計得点を発表

- 特定非営利活動法人 I-DO 67点

- 公益社団法人 北九州市シルバー人材センター 69点

- 構成員は、次のとおり検討会としての検討結果をとりまとめた。

特定非営利活動法人 I-DO は、西小倉駅前自転車駐車場への自動ゲートや3施設へのシェアサイクル等の導入など、積極的な提案内容は評価できる。ただし、実現可能性、根拠、具体性等の点で評価が分かれた。

公益社団法人 北九州市シルバー人材センターは、提案内容から堅実な管理運営が期待できる。また、3施設共通利用券の導入など、自転車利用促進について具体的な提案がなされていることは評価できる。ただし、利用者満足度の高いサービスの提供について、現状からのさらなる飛躍が望まれる。

審査の結果、検討会としては公益社団法人 北九州市シルバー人材センターが指定管理者の候補として最も相応しいと判断した。

- とりまとめを行って、検討会を終了した。